

みずほCustomer Desk Report 2021/08/27号 (As of 2021/08/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

昨日の市況概要	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.08
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.99	1.1771	129.51	1.3763	0.7277
SYD-NY High	110.22	1.1779	129.76	1.3767	0.7279
SYD-NY Low	109.93	1.1746	129.27	1.3690	0.7235
NY 5:00 PM	110.09	1.1751	129.34	1.3703	0.7238
NY DOW	35,213.12	▲ 192.38	日本2年債	-0.1400	0.00bp
NASDAQ	14,945.81	▲ 96.05	日本10年債	0.0200	0.00bp
S&P	4,470.00	▲ 26.19	米国2年債	0.2416	0.20bp
日経平均	27,742.29	17.49	米国5年債	0.8500	2.65bp
TOPIX	1,935.35	▲ 0.31	米国10年債	1.3534	0.51bp
シカゴ日経先物	27,655.00	▲ 150.00	独10年債	-0.4185	▲ 0.05bp
ロンドンFT	7,124.98	▲ 25.14	英10年債	0.6010	0.40bp
DAX	15,793.62	▲ 67.04	豪10年債	1.1820	1.50bp
ハンセン指数	25,415.69	▲ 278.26	USDJPY 1M Vol	5.25	0.03%
上海総合	3,501.66	▲ 38.72	USDJPY 3M Vol	5.48	▲ 0.03%
NY金	1,795.20	4.20	USDJPY 6M Vol	5.76	0.01%
WTI	67.42	▲ 0.94	USDJPY 1M 25RR	-0.18	Yen Call Over
CRB指数	216.371	▲ 0.34	EURJPY 3M Vol	5.83	0.13%
ドルインデックス	93.06	0.24	EURJPY 6M Vol	6.08	0.08%

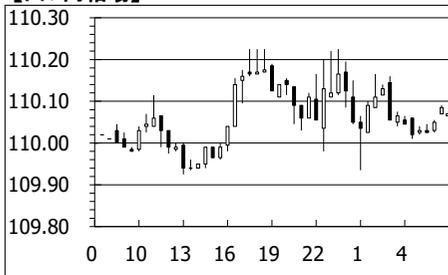
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月26日	20:30	欧 ECB議事要旨		「ガイダンスは必ずしも長期的な低金利を意味していない」
	20:45	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁		「(テーパリングについて)スタートを切ることが重要」
	21:30	米 新規失業保険申請件数	21-Aug 353k	350k
	21:30	米 GDP(年率/前期比)(二次速報)	2Q 6.6%	6.7%
	21:30	米 個人消費(二次速報)	2Q 11.9%	12.2%
	21:30	米 コアPCE(前期比)(二次速報)	2Q 6.1%	6.1%
	21:30	米 ブラード・セントルイス連銀総裁		「テーパリングを開始し、2022年第1四半期に終了すべき」

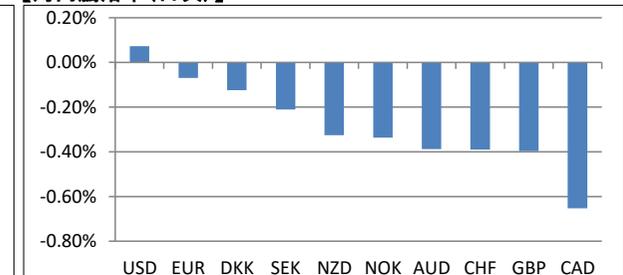
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月27日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	8月 -0.3%/-0.1%/-0.2%	-0.4%/-0.3%/-0.4%
	10:30	豪 小売売上高(前月比)	7月 -2.5%	-1.8%
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	7月 1.0%	1.1%
	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	7月 0.3%/0.4%	0.1%/1%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	7月 0.4%/4.1%	0.5%/4%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 70.8	70.2
	23:00	米 パウエルFRB議長 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.60-110.40	1.1720-1.1800	129.10-130.20

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は110円近辺での動意薄。27日(本日)、ジャクソンホール会議を控えて様子見ムードが広がる中で幅値は30銭程度、110円近辺での取引に終始した。
 本日についてはジャクソンホールに注目が集まる。足元7月FOMCにおいては経済回復は順調とされ、量的緩和の縮小(テーパリング)の議論が本格化しているのが確認できる。複数のFRB要人からも年内テーパリング開始を予想する発言がみられる中、本日のパウエル議長がテーパリング開始に関する発言を行うことはある程度織り込まれているように思う。一方で、コロナデルタ株が蔓延する中で、マーケットインパクトを伴うほどの発言はしにくい状況という認識。ヘッドラインを受けた多少の浮沈はあれど、相場のトレンドが転換するほどの材料にはならないのでは。

東京	東京時間のドル円は109.99レベルでオープン。新規材料がない中、動意乏しい展開。ジャクソンホール待ちといった展開は変わらず110円を挟んだ推移に終始し、110.04レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.04レベルでオープン。ジャクソンホール待ちの中方向感のない展開。朝方は米長期金利の上昇につれて110.22まで上昇したが伸び悩むと110.11レベルでNYに渡った。欧州中銀の7月会合議事録が発表となったがユーロ円などに大きなインパクトは限定的。
ニューヨーク	海外市場のドル円は110円ちょうど付近でスタート。引き続き27日開催予定のジャクソンホール会議を控えて様子見ムードが広がる中、動意に乏しい展開。欧州時間には8月19日高値と同水準の110.22まで上昇するも、上抜けすることは出来ず、早期に小幅反落後、110.11レベルでNYオープン。朝方は米新規失業保険申請件数が予想を下回り、米4-6月期GDPの改定値が予想を下回ったことから売りで反応し、109.98まで下落。しかし、ジョージ・カンザスシティ連銀総裁やブラード・セントルイス連銀総裁が早期のテーパリングを支持する見方をインタビューで示す中、米金利の上昇とともにドルも買われており、直ぐに110円台に戻した。その後、「ペンタゴンがカール空港での爆破を確認」、「カール空港付近のホテルで第2の爆破を確認」などのヘッドラインが流れるとリスクオフの動きが強まり、一時109.94まで値を下げた。しかし、リスクオフの買いは長続きせず、その後はじりじりと110円付近まで買い戻された。午後は先述のヘッドラインを受けて、株式市場は軟調に推移するが、為替市場ではリスクオフの流れが一巡。終盤まで方向感のない推移が続き、結局、110.09レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.1760近辺でもみ合い、欧州時間には9月GK消費者信頼感指数が予想を下回ったほか、早期には7月ECB理事会議事録が公表されるも、いずれに対してもユーロドルの反応は鈍く、1.1770レベルでNYオープン。朝方はカールでの爆発関連のヘッドラインに上下する場面もあったが、直ぐに一巡しており、レンジ推移継続となった。午後も1.1760付近で小動きが続き、結局、1.1751レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・上遠野 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	矢野	筒井	加藤	牛島	山岸	尾身	上野	山口	甲斐	小野崎		
ペア	フル	フル	フル	フル	フル	フル	ペア	フル	ペア	フル		
玉井	原田	上遠野	小林	大谷	大庭	逸見	鈴木	木村	天雲		ブル	ペア
ブル	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ペア	ブル	ブル	ペア		15	6